

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第17週、第18週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (18週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 6例。3類感染症：腸管出血性大腸菌 1例。  
 4類感染症：報告なし。5類感染症：アメーバ赤痢 1例、侵襲性肺炎球菌感染症 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	肺結核	咳、痰
			60歳代	女	粟粒結核及び脊椎カリエス	発熱
			70歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
			90歳代	女	肺結核	痰、発熱
		延岡	80歳代	女	肺結核	症状なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	0~4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、O145(VT2産生)
5類	アメーバ赤痢	都城	60歳代	男	腸管アメーバ症	症状なし
	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	0~4歳	男	—	発熱、咳、肺炎

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

#### ● 第17週

- 定点医療機関からの報告総数は889人(定点あたり28.2)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

#### ● 第18週

- 定点医療機関からの報告総数は720人(定点あたり21.8)で、前週比77%と減少した(連休の休診含む)。前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【感染性胃腸炎】

- 報告数は312人(8.7)で、前週比80%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(10.9)の0.8倍であった。小林(20.3)、日南(16.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約4割を占めた。

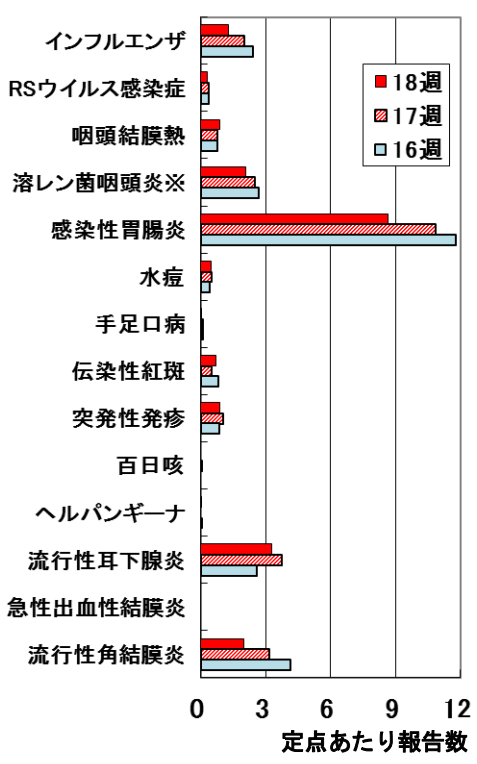
##### 【流行性耳下腺炎】

- 報告数は118人(3.3)で、前週比88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.73)の約4.5倍であった。日向(9.8)、小林(9.0)、延岡(6.8)保健所からの報告が多く、年齢別では3~6歳が全体の約7割を占めた。

##### 【伝染性紅斑】

- 報告数は26人(0.72)で、前週比144%と大幅に増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.49)の約1.5倍であった。都城(2.2)、中央(2.0)保健所からの報告が多く、年齢別では4~5歳が全体の半数を占めた。

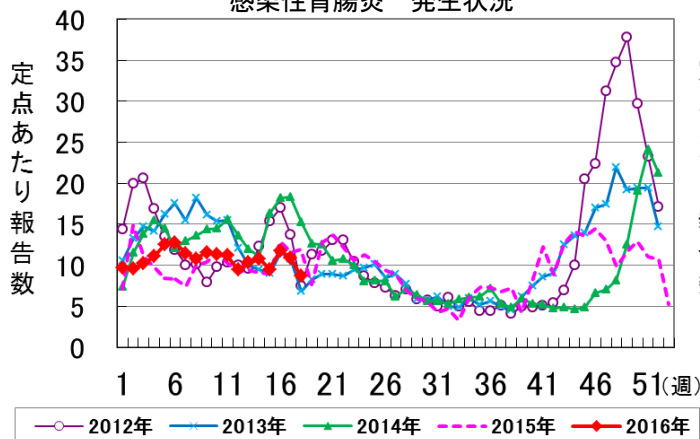
《3週間の推移》



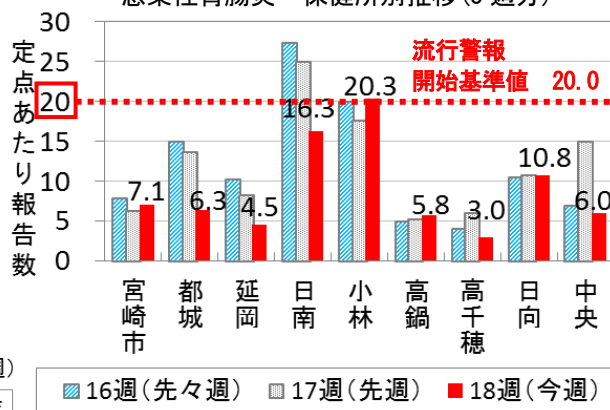
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

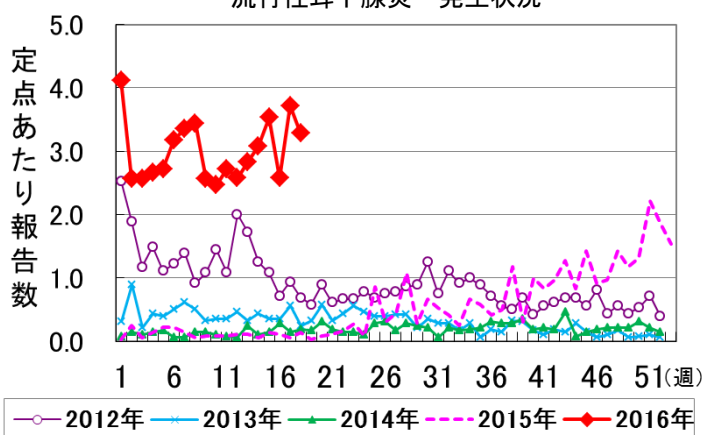
感染性胃腸炎 発生状況



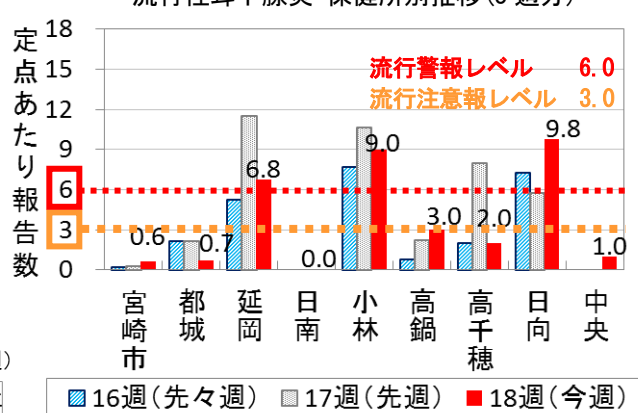
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



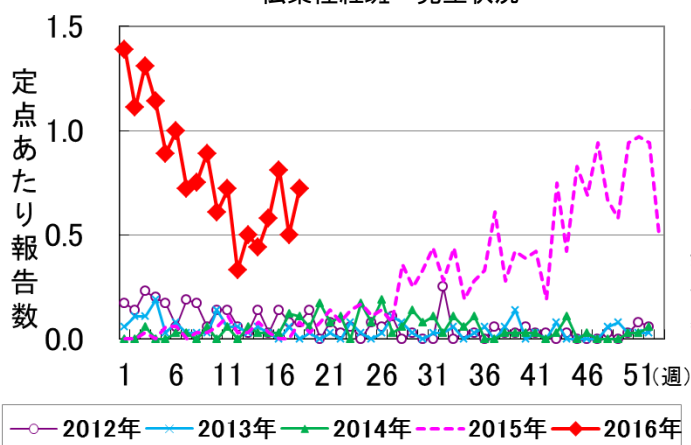
流行性耳下腺炎 発生状況



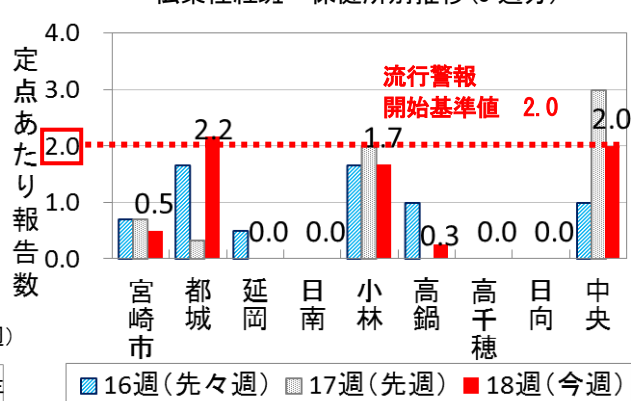
流行性耳下腺炎 保健所別推移(3週分)



伝染性紅斑 発生状況



伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

● 第17週

- 無菌性髄膜炎：延岡保健所から報告があった。0～4歳であった。
- マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から4例、延岡保健所から2例、高鍋、日向保健所から1例ずつ報告があった。0～4歳が3例、5～9歳が3例、10歳代が2例であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所から6例、都城保健所から1例、日向保健所3例から報告があった。0～4歳で8例、5～9歳で2例であった。

## ● 第18週

- マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から5例報告があった。0～4歳が2例、10歳代が3例であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：延岡保健所から1例、日南保健所から2例報告があった。0～4歳が2例、10歳代が1例であった。

### ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	17週	18週	
宮崎市	なし	なし	*流行警報レベル開始基準値*
都城	なし	伝染性紅斑(2.2)、	・咽頭結膜熱(3.0)
延岡	流行性耳下腺炎(11.5)	流行性耳下腺炎(6.8)	・感染性胃腸炎(20.0)
日南	感染性胃腸炎(25.0)	なし	・伝染性紅斑(2.0)
小林	伝染性紅斑(2.0)、流行性耳下腺炎(10.7)	感染性胃腸炎(20.3)、流行性耳下腺炎(9.0)	・流行性耳下腺炎(6.0)
高鍋	なし	流行性耳下腺炎(3.0)	*流行注意報レベル基準値*
高千穂	流行性耳下腺炎(8.0)		・水痘(4.0)
日向	流行性耳下腺炎(5.8)	流行性耳下腺炎(9.8)	・流行性耳下腺炎(3.0)
中央	咽頭結膜熱(4.0)、水痘(4.0)、伝染性紅斑(3.0)	咽頭結膜熱(4.0)、伝染性紅斑(2.0)	

### □病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成28年5月10日までに検出）

#### ★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EAggEC(O126:HUT)	0～4歳	女	2016.4.11	下痢	便	2016.5.2
<i>Neisseria meningitidis</i> B群	20歳代	男	2016.4.11	排尿痛、膿尿	尿	2016.5.2
EPEC(O157:H40)	20歳代	女	2016.4.21		便	2016.5.2
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	50歳代	女	2016.4.20	無症状	便	2016.4.28

- 排尿痛、膿尿を呈した20代後半の男性の尿から、髄膜炎菌(*Neisseria meningitidis*)が検出された。髄膜炎菌が尿から検出されることはまれであるが、敗血症や髄膜炎以外にも咽頭喉頭炎、気管支炎、肺炎、心外膜炎、結膜炎、眼内炎、化膿性関節炎、泌尿生殖器感染症など多彩な症状を呈することが報告されている。髄膜炎菌が尿から検出された場合は、臨床的に淋菌性尿道炎と区別することは困難であり注意が必要である。

#### ★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
エコーウイルス18型	0～4歳	男	2016.04.05	手足口病、38.5℃、丘疹	咽頭ぬぐい液	2016.05.09
エコーウイルス18型	0～4歳	男	2016.04.07	エンテロウイルス感染症疑い、39℃ 咳、痰、淡紅斑	咽頭ぬぐい液	2016.04.30
エコーウイルス18型	0～4歳	男	2016.04.09	エンテロウイルス感染症疑い、38℃ 上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.05.02
ライノウイルス	0～4歳	男	2016.04.21	集団かぜ、不明の発疹症、39.4℃ 気管支炎	咽頭ぬぐい液	2016.04.28

- エンテロウイルス感染症疑いの乳児2名及び手足口病の乳児1名からエコーウイルス18型が分離された。エコーウイルスなどのエンテロウイルス感染症は毎年夏季に多くみられ、無菌性髄膜炎を起こすことがあるため注意する必要がある。

## 全国 2016 年第 16、17 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

#### ●第 16 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	375 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	18 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	8 例	A 型肝炎	4 例	ジカウイルス感染症	1 例
	デング熱	7 例	日本紅斑熱	7 例	ボツリヌス症	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	17 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例
	急性脳炎	7 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	18 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	34 例	水痘（入院例）	3 例
	梅毒	59 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	3 例
	風しん	1 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

#### ●第 17 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	335 例				
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	20 例
4類感染症	E 型肝炎	4 例	A 型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	3 例	デング熱	4 例	日本紅斑熱	2 例
	レジオネラ症	16 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	18 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	47 例
	水痘（入院例）	4 例	梅毒	50 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	風しん	2 例	麻しん	1 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

#### ●第 16 週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 2,330 人(0.74)で、前週比 90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.42)の約 1.8 倍であった。宮崎県(2.6)、佐賀県(2.5)、山形県、沖縄県(1.6)からの報告が多く、年齢別では 4~5 歳が全体の約 3 割を占めた。

#### ●第 17 週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 87%と減少した。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと RS ウイルス感染症であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 2,516 人(0.80)で、前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.40)の 2.0 倍であった。宮崎県(3.7)、山形県(3.1)、石川県(2.2)からの報告が多く、年齢別では 4~5 歳が全体の約 3 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第18週(5月2日～5月8日)

疾病名		第16週	第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	142	119	76	9	10	6	1	33	10	2	3	2
	定点あたり	2.41	2.02	1.29	0.56	1.00	0.86	0.20	6.60	1.67	1.00	0.50	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	13	11	2	9							
	定点あたり	0.36	0.36	0.31	0.20	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	27	28	32	7	5	5	5	1	3		2	4
	定点あたり	0.75	0.78	0.89	0.70	0.83	1.25	1.67	0.33	0.75	0.00	0.50	4.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	96	90	75	27	11	6	9	3	10	1	5	3
	定点あたり	2.67	2.50	2.08	2.70	1.83	1.50	3.00	1.00	2.50	1.00	1.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	425	391	312	71	38	18	49	61	23	3	43	6
	定点あたり	11.81	10.86	8.67	7.10	6.33	4.50	16.33	20.33	5.75	3.00	10.75	6.00
水痘	報告数	15	17	17	6	2		5	1	1		2	
	定点あたり	0.42	0.47	0.47	0.60	0.33	0.00	1.67	0.33	0.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	4	3	1	1								
	定点あたり	0.11	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	29	18	26	5	13			5	1			2
	定点あたり	0.81	0.50	0.72	0.50	2.17	0.00	0.00	1.67	0.25	0.00	0.00	2.00
突発性発しん	報告数	31	37	31	13	8	1	3	3	1	1	1	
	定点あたり	0.86	1.03	0.86	1.30	1.33	0.25	1.00	1.00	0.25	1.00	0.25	0.00
百日咳	報告数		1										
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1		1								1	
	定点あたり	0.03	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	93	134	118	6	4	27		27	12	2	39	1
	定点あたり	2.58	3.72	3.28	0.60	0.67	6.75	0.00	9.00	3.00	2.00	9.75	1.00
急性出血性 結膜炎	報告数												
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	25	19	12	8	4							
	定点あたり	4.17	3.17	2.00	2.67	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1											
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1										
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2	8	5	5								
	定点あたり	0.29	1.14	0.71	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数												
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1	10	3			1	2					
	定点あたり	0.14	1.43	0.43	0.00	0.00	1.00	2.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～18週)

2類感染症	結核	66例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病	4例
	アメーバ赤痢	9例(1)	カルバベナム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎	7例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例(1)	梅毒	4例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例		

( )内は今週届出分、再掲